

令和4年5月20日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

長崎県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
佐世保市立宇久小学校・宇久中学校	佐世保市教育委員会	公

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
佐世保市立 宇久小学校	http://www.city.sasebo.ed.jp//es-uku/asp/kiji/pub/default.asp?c_id=13816
佐世保市立 宇久中学校	http://www.city.sasebo.ed.jp//jh-uku/asp/kiji/pub/default.asp?c_id=13819

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
佐世保市立 宇久小学校	http://www.city.sasebo.ed.jp//es-uku/asp/kiji/pub/default.asp?c_id=5450	http://www.city.sasebo.ed.jp//es-uku/asp/kiji/pub/default.asp?c_id=5450
佐世保市立 宇久中学校	http://www.city.sasebo.ed.jp//jh-uku/asp/kiji/pub/default.asp?c_id=640	http://www.city.sasebo.ed.jp//jh-uku/asp/kiji/pub/default.asp?c_id=640

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特になし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

P T A 役員会、学校支援会議等において、保護者や地域住民を対象として特別の教育課程に関する説明を行い、学校において特に育みたい資質・能力について、学校・保護者・地域間で共有し、連携・協働して取り組めるよう共通理解を図っている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、宇久地区における少子高齢化が進む中、小学校、中学校、高等学校の12年間を見通したキャリア教育の充実を目指し、郷土への愛着や郷土を担う志、また夢やコミュニケーション能力を育む「宇久・実践」を設置するものである。実際、本特例を実施している宇久小学校及び宇久中学校においては、全国学力・学習状況調査の質問紙調査における、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という問いに対する肯定感が極めて高く、心の状況調査においても、社会参画の意識や規範意識が十分に育まれている状況がうかがえる。

また、「将来の夢や目標を持っていますか」という問いへの肯定値についても高い状況が見られるが、今後も継続してキャリア教育の充実を図っていくことは課題である。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している宇久小学校及び宇久中学校においては、長崎県の学力調査及び佐世保市学力調査において、平均点を大きく上回っている状況が見られる。これらは、「宇久・実践」の設置により、学力向上とキャリア教育をリンクさせながら取り組んできた本特例の成果の一つといえる。

今後は、調査結果や意識調査を丁寧に分析するとともに、教科横断的単元構成の実践研究に取り組むことで、より一層の成果を上げるように尽力するとともに、主体的な学習者の育成を目指す。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示すような課題を踏まえて、教科横断的な学びをつなぎ、より深い学びを構築するという方向で本特例の改善を図ることが考えられる。そのために、各教科で学んだことを「宇久・実践」の体験活動や表現活動において活用できる場面をより効果的に設定することが重要となる。今後「宇久・実践」の活動内容の精選はもとより、他教科や領域と密接にリンクさせたカリキュラムマネジメントを一層進めることにより、学びの効果を高めていきたい。